

## ○ 本日の内容と「お願い」

本日は、足元も良くなく、お忙しいところ、ご参加いただきありがとうございます。

- 1 座席は自由です。ただし、お知り合いの方とは、同じグループにならないようにお座りください。

開始までに、グループ内で自己紹介をお願いします。

- 2 「私が不登校相談に対応した事例（架空の事例）」

説明・質疑・ロールプレイ・ディスカッション

- 3 「初回相談で私が意識すること」

説明・質疑・ディスカッション

16時までに終了できない可能性があります。

ご予約のある方は、ご遠慮なく、終了前にご退室なさってください。

令和7年度  
富山県孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム勉強会

# 支援者のヒントになること

令和8年2月9日（月）

富山県孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム幹事

石動 仁（富山県高岡児童相談所）

# 私那不登校相談に対応した事例

次の事例は、平成時代に、私が不登校の相談に対応した事例のいくつかを、まとめて創作した事例です。

令和時代の児童相談所は、児童虐待相談対応に多くの資源を充てざるを得ない状況です。

このような対応はできないことを、どうか、ご了承ください。

この事例から、皆さんの活動にヒントになるものを、ご提供できれば、たいへん嬉しく思います。

# 私の不登校相談対応のスタンス

○不登校のこどもは、人との関係に過敏になっている。

- 1 家庭で安心して暮らせること
- 2 外に出ること
- 3 健康な人との関わり

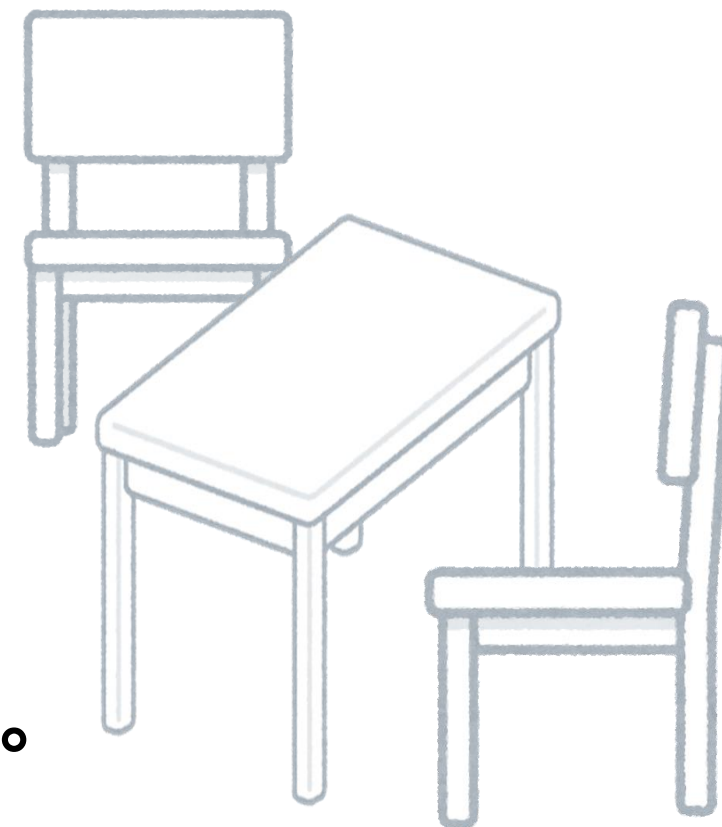
これらのことができるように、まずは、周りの大人の本人への関わりを調整する等して、本人が、人との関係の過敏さを、少しずつ軽減することを待ちます。

# 子育ての相談に対応する私のスタンス

- 1 相談を聴くときは、  
相談者が、こどもに誤った対応をしていても、  
それを否定せず、話を聴き、心労をねぎらう。  
※ただし、同調はしない。
- 2 本人をどうにかしようとするのではなく、  
取り巻く大人が、間違った対応をとらないように  
調整する。

# ある日、次の相談を受けました

- 相談者は母
  - 相談内容は長男Aくんの不登校
  - Aくんは中学3年生
  - 2学期になってから、長期連続欠席
  - 原因は不明
  - 父母が何度聞いても答えない。
  - 今では、自室に引きこもってしまった。
  - 食事も家族（父母妹）とは食べず、
  - 夜中に、自分で料理して食べている。
- 私は、母の心労を労いながら傾聴しました。



## ○私から母への助言

約2時間あまり、母の話を聴いて、私は次のことを助言し、提案しました。

- ・お母さんは、すごい。息子さんのことを、いつも考えている。だから、息子さんのことを良く知っている。
- ・息子さんも、すごい。自分で料理している。おなかが空くような生活を続けている。
- ・だから、お母さん、息子さんに夕ご飯を届けてみていただけませんか。
- ・ついでに、今日、児童相談所に行ったことを、息子さんにメモ書きしていただけませんか。明日からは、ご家族の出来事をメモ書きしていただけませんか。
- ・次の面接では、息子さんの上着をお持ちいただけませんか。

（メモの内容）お母さんは、今日、児童相談所に行ったら、ごはんを、部屋の前に置いておくように言われました。





# 母から、A君へのメモ

今日、2回目の児相に行きました。  
あなたが学校に行ける方法を教えてもらえませんでした。  
私が、「どうして学校に行かないの！」と、あなたに言ったときの、あなたの気持ちを感じました。  
もう、私もお父さんも言わないことにしました。



今日、久しぶりに、お父さんと買い物に行きました。  
お父さんが、あなたの好きなアイスクリームを覚えていました。  
冷蔵庫に入れておきます。おいしかったら良いですね。

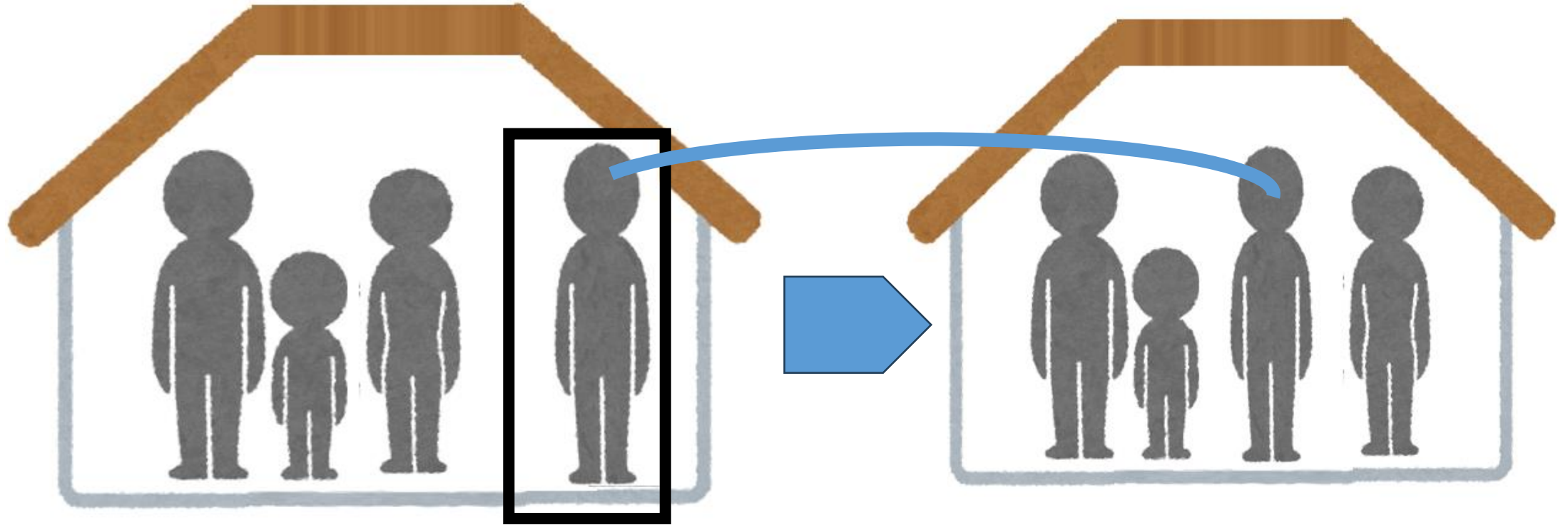
今日、妹が宿泊学習から帰りました。「お兄ちゃんのお土産」がありますので、置いておきます。喜んでもらえるかな？

# ○Aくんの変化

- 2週間に1回、母と（A君の上着と）の面接を続けました。息子さんの生活に変化がありました。
- 面接では、お母さんにA君の気持ちを想像して話してもらいました（A君の上着に、質問してもらいました）。
- ある日から、A君は夕食を家族と食べるようになりました。最初は突然、食卓に現われ、さっさと食べて、部屋に帰る。そのうち、食べてから数分、父、母、妹と話をする。（野球や芸能ネタを一問一答。答えを聞くとすぐ部屋へ。）
- 母に、児童相談所で何をしているか聞くようになった。母が児相に持っていく上着を、自分で選ぶようになり、そして、自分も児童相談所に行くと言いました。

# 〇ここまでの私の考え

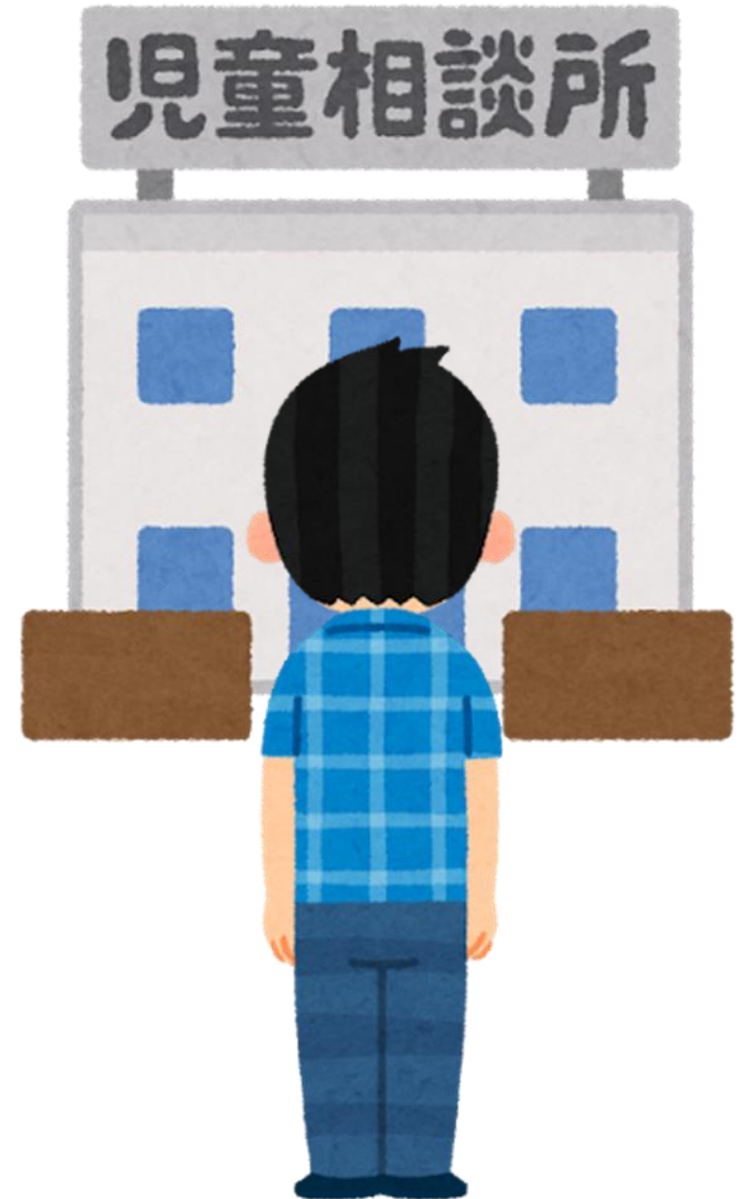
目標 家庭内で生じている、息子さんの孤立の解消



「家族の境界」を整えることで、家で息子さん安心して暮らせ、その結果、外に出て、人と会う、エネルギーを貯める。

# ○A君の児童相談所来所

- そして、ある日、A君が一人で児童相談所に来所
- そこで、私はA君に提案しました。
- 「いっしょに散歩行こうか。相談室で、おじさんとしゃべっていても、おもしろくないでしょう。」



# ○散歩中のこと

- A君は、二つ返事でOK
- そこで、2週間に1回  
私はA君と二人で  
相談所周辺を散歩しました。
- 息子さんとの会話は  
弾みません。
- 二人で、一問一答のやりとりを  
くりかえしていました。
- それでも、息子さんの来所は続き  
紅葉の季節を迎えました。
- 二人で紅葉狩りに出かけた日のこと







「シャシン、オネガイシマス！」

突然、外国人家族から  
私たちは  
紅葉を背景に写真撮影を  
お願いされました。

私はA君に撮影をお願い。  
A君は、しぶしぶ撮影

撮影後、外国人家族は一方的に  
息子さんと10分以上、歓談？  
喜びとお礼の言葉のシャワー

# ○その次の日

- 翌日の朝、母親から電話がありました。
- 母親の話が始まる前、私は緊張していました。
- 前日、A君は外国人家族と過ごした後、一言も話さず、そのまま帰ってしまったからです。

- 母の話が始まりました。  
「昨日、何があったのですか？  
今朝、息子が学校に行きました！」

- 私は、出来事を伝えるしか  
できませんでした。



# ○息子さんの、その後



外国人家族を撮影した翌日から、  
児童相談所を訪れることもなく  
A君は登校を続け、  
卒業式にも出席しました。

また、高校に進学しました。

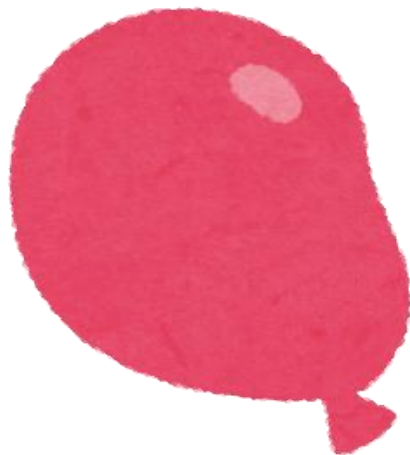
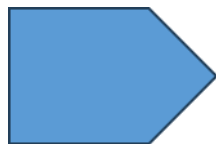
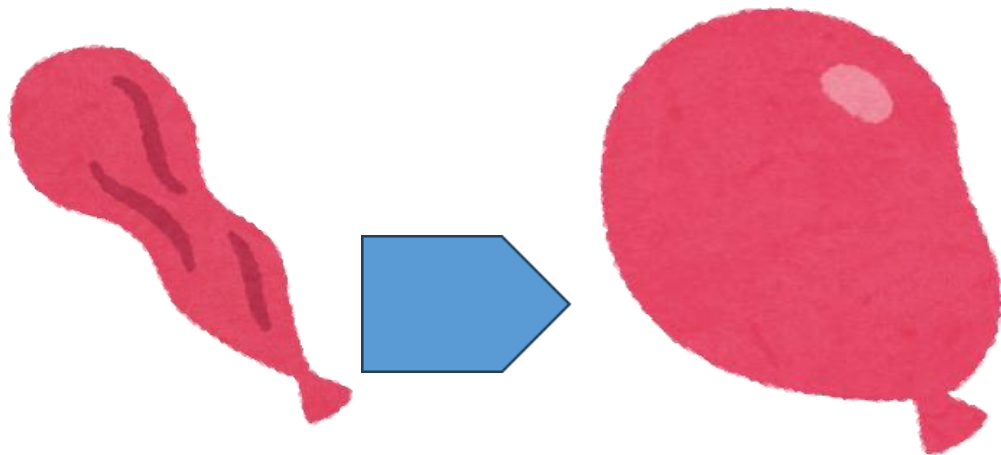
登校再開後、欠席は数日  
家族との会話は、一問一答でしたが、  
夕食も家族と共にしていたと、  
後日、母が知らせてくださいました。



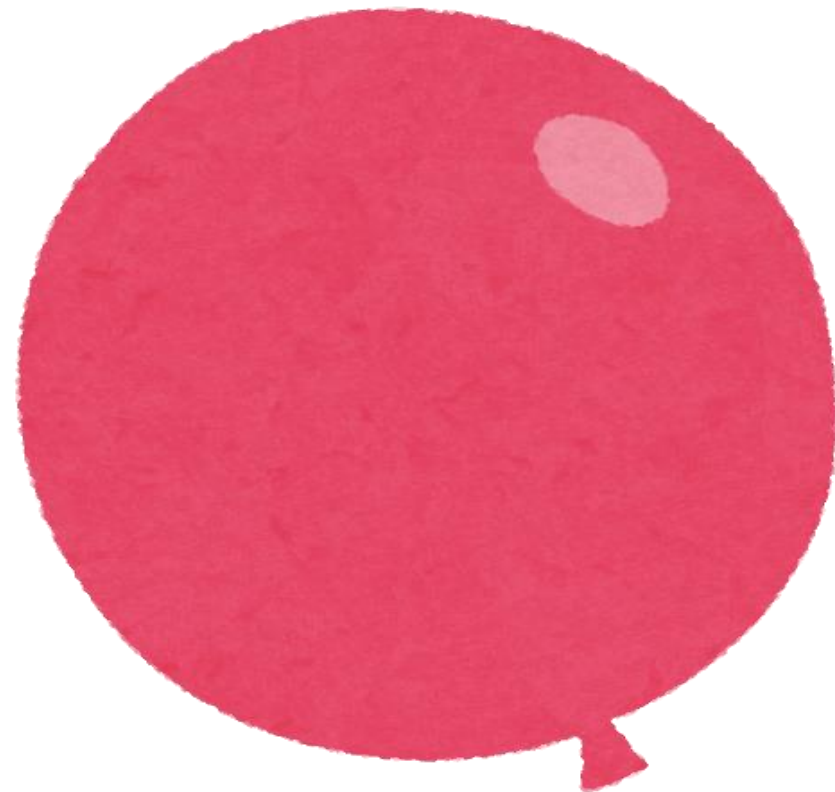


# 〇ここまでの私の考え

A君のエネルギー



「きっかけ」  
(予測不能)



相談開始

家族との交流

外に出ること・人に会うこと

エネルギーが低下しない環境を整えて  
相談者と「きっかけ」を「待つ」

## ○ 私の相談事例（架空）について

- 1 グループで少し話し合ってください。
- 2 グループから1つずつ、質問・意見等、ご発言をお願いします。
- 3 ロールプレイループを始めます。

# ロールプレイ

- 1 2人1組になり、1人は相談者、1人は支援者
- 2 相談者役のロール（次の相談をする。脚色可）
  - 相談者の子どもが登校しなくなった。
  - その理由を問い詰めたが、子どもは黙ったまま。
- 3 支援者役のロール
  - 相談者を労う。
  - 相談者が問い詰めたときの、子どもの気持ちを  
相談者は想像して、話してもらってください。
- 4 支援者役は相談者を労い、ロールプレイは終了
- 5 役割を交替してロールプレイしてください。
- 6 グループで感想を話し合ってください。

# 私が初回相談で意識すること①

- 1 相談者が、時間を費やして来所していることを意識
- 2 相談者より出入り口の近くに座る。
- 3 相談者の正面に座らない。
- 4 終了時刻を予告する。
- 5 質問は低いトーンで始める。  
徐々にトーンを上げるが、相談者より「少し下」を維持
- 6 話のペースも同様。相談者より早くならない。
- 7 視線の動き、身体の動きも、できるだけ、相談者に合わせる。

# 私が初回相談で意識すること②

## 8 相談者の呼称に注意

- 基本は名前「〇〇さん」
- 「お母さん」「お父さん」と支援者が相談者を呼称するのは、了承を得てから。

## 9 記録する了承を得る。

### 10 記録は相談者にも、見えるように。

- 大切と思った言葉だけ書く。  
(スケッチブック等使用)
- 相談者にも見えるように記録

### 11 相談内容を聞き、相談者が何を求めているか聞く。 文字で書いて、相談者といっしょに見て、確かめ合う。

# 私が初回相談で意識すること③

- 1 2 相談者が、  
「何が」、「いつまでに」、「どうなったら良い」と  
考えているか、「相談のゴール」を確認し合う。
- 1 3 支援者は、相談者のゴールが、相談中に変わって  
いないか注意する。
- 1 4 疑問を感じたら、何度でも確かめる。  
ゴールは変わってもよいが、その理由に自分が納得  
できるか考える。
- 1 5 相談者の求めるゴールを自分が対応できるか考える。  
迷ったときは、上司・同僚に相談する。

## 私が初回相談で意識すること④

- 16 終了予定時刻の10～15分前に、話題を「今後  
どうするか」に変える。
- 17 相談者が、再相談を希望するときは、相談者が求める  
ゴールに自分が対応できるか再考する。
- 18 そのうえで、対応が難しいと判断したときは  
相談者に「難しい」と判断したことと、その理由、  
可能であれば、他の支援者を紹介する。  
(支援者によっては、事前承諾が必要)

# 私が初回相談で意識すること⑤

19 初回で終了する場合は、

「何かあったら、相談してください。」は  
絶対、使わない。

具体的に再相談する基準を、相談者と決める。

(例)

- こどもが、部屋から出てこない日が3日続いたら。
- 夫の早退が3日続いたら。
- 妻が1週間、家族の誰とも会話しなくなったら。
- 息子の家のなかがゴミだらけになっていた。



# グループディスカッション

- 1 「私が初回相談で意識すること」について、疑問等をグループで話し合ってください。
- 2 各グループから、1つ質問・意見を出してください。

本日は、ご参加ありがとうございました

- お忙しい中、また足元が良くない中、勉強会にご参加いただきありがとうございました。
- 今日の内容が、皆さまの日々の実践に少しでもお役に立てば幸いです。